

V-11WK デルマン自動水栓 水が止まらない際の点検事項

1. センサーのお手入れ

- ①センサーの表面を柔らかい布等で拭きます。
- ②異物が付着している場合は取り除きます。
- ③汚れがひどい時は、中性洗剤を薄めて、布に含ませて拭きます。
- ④③の後、水を含ませた布をよく絞って洗剤を拭きとります。
- ⑤④の後、乾いた布で乾拭きします。



2. センサー感度の再設定

- ①電源を切ります。(コンセントを抜きます)
- ②青色の LED ランプが高速で点滅します。
- ③点滅が終わるまでの15秒間、放置します。
- ④電源を投入します。(コンセントを接続します)
- ⑤④の数秒後 LED ランプが2回点滅すると再設定完了となります。
- ⑥上記の間、センサーを遮るようなことはしないよう注意します。

【V-11WK (AC100V 式) の場合】

①電源ケーブルを抜きます。



②青色のLEDランプが高速で点滅します。点滅が終わるまで(約15秒)そのまま放置してください。



3. オートストップ機能の確認

- ①手をかざして水(お湯)を流します。
- ②①の状態で30秒間、水(お湯)を流し続けます。
- ③30秒経過後、水(お湯)が自動的に止まるか確認します。
- ④③で水(お湯)が止まらない場合は、止水機能の故障の可能性があります。
- ⑤4項のスパウトの角度調整を実施できるよう手配してください。

水(湯)を出す

吐水口の下に手を近づけると、センサが感知して水が出ます。手を遠ざけると止水します。



※30秒以上連続で感知した場合は、オートストップ機能により、いったん止水します。
※コップや歯ブラシなど透明なものや細いもの、またはゴム手袋など濃い色のものに対しては、センサの反応が低下する場合があります。
※正常に動作しない場合は、「10. こんなときは？」をご確認ください。

4. スパウトの角度調整

(設置業者等にご依頼ください。)

- ①スパウトの固定を少し緩めます。(取扱説明書8項参照)
- ②スパウトの吐水口(センサー)を回転させて、センサーの位置を左右どちらか1cm程度ずらします。
- ③洗面ボウルに赤外線が反射して誤作動していた場合は、①②で改善しますので、その位置でスパウトを固定します。

